



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G (SCCP) for Cisco Unified Communications Manager Express 4.3

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があります。正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このクイックリファレンスカードは、Cisco Unified IP Phone の使用に慣れているユーザを対象としています。電話機および機能の詳細については、ユーザガイドを参照してください。

クイック リファレンスの使用方法

- 番号が振られている項目は、順序どおりに操作してください。
- 箇条書きの項目がある場合は、1つだけ選択します。
- 太字の用語は、使用するソフトキーを表しています。

電話の発信

受話器を使用して電話をかけるには、受話器を取り上げて番号を入力します。

スピーカフォンを使用して電話をかけるには、 を押して番号を入力します。

ヘッドセットを使用して電話をかけるには、 を押して番号を入力します。 が点灯している場合は、**[発信]** を押して番号を入力します。

番号をリダイヤルするには、**[リダイヤル]** を押します (最後にダイヤルした番号をダイヤルする場合)。または、電話機が使用されていないときに、ナビゲーションボタンを押して **[発信履歴]** を表示します。

通話がアクティブになっているとき、同じ回線を使用して別の電話をかけるには、次の手順を実行します。

- [保留]** を押します。
- [発信]** を押します。
- 番号を入力します。

通話履歴にある番号をダイヤルするには、次の手順を実行します。

- > **[不在履歴]**、**[着信履歴]**、または **[発信履歴]** を選択します。
- タッチスクリーン上で、リストを押します。

ダイヤル トーンが聞こえていないオンフックの状態 でダイヤルするには (事前ダイヤル)、番号を入力した後、受話器を取り上げてオフフックにするか、タッチスクリーン上の番号を押すか、**[ダイヤル]**、、 のいずれかを押します。

事前ダイヤルを行うとき、ダイヤルしている番号に一致すると思われる番号が **[発信履歴]** にある場合は、その番号が電話機に表示されます。この機能は「自動ダイヤル」と呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に電話をかけるには、その番号を押します。または、その番号までスクロールした後、電話機をオフフックにします。

ダイヤル中に数字を押し間違えた場合は、<< を押して数字を消去します。

通話への応答

ヘッドセットを使用して応答するには、 を押します (点灯していない場合)。 が点灯している場合は、**[応答]** または (点滅) を押します。

スピーカフォンを使用して応答するには、、**[応答]**、または (点滅) を押します。

接続されている通話から切り替えて新しい通話に応答するには、**[応答]** を押します。別の回線上で通話の呼出音が鳴っている場合は、 (点滅) を押します。

コール ウェイティングを使用して応答するには、**[応答]** を押します。

通話をボイス メッセージ システムに送信するには、**[サイレント]** を押します。

通話を自動的に接続するには、自動応答を使用します。

別の電話機でパークされた通話を取得するには、コール ピックアップを使用します。

他の人の電話機で呼出音が鳴っている場合に、自分の電話機で応答するには、コール ピックアップを使用します。

通話の終了

受話器を使用しているときに電話を切るには、受話器を受話器台に戻します。または、**[終了]** を押します。

ヘッドセットを使用しているときに電話を切るには、 を押します。また、ヘッドセット モードをアクティブのままにする場合は、**[終了]** を押します。

スピーカフォンを使用しているときに電話を切るには、 または **[終了]** を押します。

1 つの通話を終了し、同じ回線上にある別の通話は接続したままにするには、**[終了]** を押します。必要に応じて、通話の保留を最初に解除してください。

保留と復帰の使用方法

- 保留しようとする通話が強調表示されていることを確認します。
- [保留]** を押します。

現在の回線で通話の保留を解除するには、次の手順を実行します。

- 対象となる通話が強調表示されていることを確認します。
- [復帰]** を押します。

別の回線上にある通話の保留を解除するには、対象の回線で (点滅) を押します。この回線で保留されている通話が 1 つしかない場合は、その通話が自動的に再開されます。複数の通話が保留されている場合は、対象となる通話までスクロールし、**[復帰]** を押します。

ミュートの使用方法

ミュートをオンに切り替えるには、 を押します。

ミュートをオフに切り替えるには、 を押します。

複数の通話の切り替え

- 切り替え先の通話が強調表示されていることを確認します。
- [復帰]** を押します。アクティブ コールが保留になり、選択した通話が再開されます。

通話の転送

- [転送]** を押します。
- 転送先の番号をダイヤルします。
- 応答を待って、転送を発信者に知らせます。
- [転送]** を押して、通話を転送します。または、**[終了]** を押して電話を切ります。
- [復帰]** を押して、最初の発信者にもう一度接続します。

ボイスメールへの転送

- [VM 転送]** を押します。
- 受信者の内線番号を入力し、もう一度 **[VM 転送]** を押します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づきクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word trademark does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(0705R)

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社. All rights reserved.

別の番号へのすべての通話の自動転送

[不在] を押した後、電話機で番号をダイヤルする場合と同様に、転送先の電話番号を正確に入力します。

プライマリ回線での自動転送をキャンセルするには、[不在] を押します。

サイレント

- [次へ] ソフトキーを押して、[サイレント] ソフトキーを探します。
- [サイレント] ソフトキーを押します。画面のテキストメッセージで、電話機がサイレントモードになったことが通知されます。



(注) [サイレント] ソフトキーを押すと、通話は、電話機で設定されている自動転送先にすぐに自動転送されます。自動転送の宛先が設定されていない場合は、[サイレント] ソフトキーを押すと呼出音が鳴らなくなります。

サイレント機能を無効にするには、ステップ 1 と 2 を繰り返します。

通常の会議の開始と参加

- 接続されている通話から、[会議] を押します ([会議] は、[次へ] ソフトキーを押さないと表示されない場合があります)。
- 参加者の電話番号を入力します。
- 通話が接続されるまで待機します。
- [会議] をもう一度押して、参加者を通話に追加します。
- 操作を繰り返して、他の参加者を追加していきます。

参加者の表示

- アクティブな会議を強調表示します。
- [参加者] を押します。参加者の表示順序は、会議に参加した順です。新しい参加者は一番上に追加されていきます。

参加者の削除

- 参加者の名前を強調表示します。
- [削除] を押します。参加者を削除できるのは、会議の開始者だけです。

会議から退席するには、電話を切るか、[終了] を押します。

ミーティング電話会議の開始と参加

- システム管理者から、ミーティング電話番号を入手します。
- 番号を参加者に通知します。
- 会議を開始する準備が整ったら、電話機をオフフックにし、ダイヤルトーンが聞こえたら [ミーティング] を押します。
- ミーティング会議の番号をダイヤルします。参加者は、この番号にダイヤルインすることで会議に参加できます。

開始者がまだ会議に参加していない場合は、参加者が会議に電話をかけるとビジー音が聞こえます。この場合、参加者は電話をかけ直す必要があります。

ミーティング会議に参加するには、ミーティング会議の番号（会議の開始者から通知されます）をダイヤルします。

ミーティング会議を終了するには、すべての参加者が電話を切る必要があります。

共有回線上の通話への参加

- リモートで使用中になっている、参加先の通話を強調表示します。
- [次へ] を押して [C 割込] を表示し、[C 割込] を押します。

通話の録音

- [LiveRcd] を押します。通話の相手は保留になり、設定済みのライブレコード番号への通話が開始されます。
- 録音を停止するには、[LiveRcd] をもう一度押します。

短縮ダイヤル

- 短縮ダイヤル ボタンを設定します。
- 電話をかけるには、●（短縮ダイヤル ボタン）を押します。

電話機でのリダイレクト コールのピックアップ

- 次のいずれかの操作を実行します。
 - [ピック] ソフトキーが使用可能な場合は、このソフトキーを押します。

- [ピック] ソフトキーが使用不可の場合は、電話機をオフフックにして [ピック] ソフトキーを表示し、押します。
- 通話の呼出音が鳴ったら、[応答] を押して通話に接続します。

グループ外の別の内線で通話の呼出音が鳴っている場合、その通話に応答するには、次の手順を実行します。

- 次のいずれかの操作を実行します。
 - [G ピック] ソフトキーが使用可能な場合は、このソフトキーを押します。
 - [G ピック] ソフトキーが使用不可の場合は、電話機をオフフックにして [G ピック] ソフトキーを表示し、押します。
- グループピックアップコードを入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これで通話に接続されます。
- 通話の呼出音が鳴ったら、[応答] を押して通話に接続します。


通話のパークとパークされた通話の再開


- 通話中に、[パーク] を押します ([パーク] は、[次へ] ソフトキーを押さないと表示されない場合があります)。
- 電話機画面に表示されるコール パーク番号を書き留めます。
- 電話を切ります。



パークされている通話を再開するには、ネットワーク内の Cisco Unified IP Phone でコールパーク番号を入力して、通話に接続します。

受話器、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法


受話器を使用するには、受話器を取り上げてオフフックにします。受話器を戻すとオンフックになります。

ヘッドセットを使用するには、 を押してヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。

スピーカフォンを使用するには、 を押してスピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。

通話中に、受話器からスピーカフォンまたはヘッドセットに切り替えるには、 または  を押した後、受話器を置きます。

通話中に、スピーカフォンまたはヘッドセットから受話器に切り替えるには、受話器を取り上げます（ボタンは押しません）。


通話の音量レベルを調節するには、通話中、またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。使用しているデバイスに応じて、受話器、スピーカフォン、またはヘッドセットの音量が調節されます。以降の通話でもこの音量レベルのままにするには、[保存] を押します。

Cisco Extension Mobility


Cisco Extension Mobility (Cisco EM) を利用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分用に設定できます。EM にログインすると、電話機の回線、機能、定義されているサービス、および Web ベースの設定を含むユーザプロファイルが電話機に適用されます。Cisco EM は、システム管理者が設定する必要があります。

EM では、所定の時間が経過するとユーザがログアウトされます。この制限時間はシステム管理者が定義します。User Options Web ページで Cisco EM プロファイルに対して行った変更は、電話機で Cisco EM に次にログインしたときに有効になります。電話機でしか制御できない設定は、Cisco EM プロファイルに保持されません。

Cisco EM にログインするには、次の手順を実行します。

-  > [Cisco EM Service] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ユーザ ID と PIN (システム管理者から提供されたもの) を入力します。
- [Submit] を押します。ユーザ プロファイルと設定値が、電話機に一時的に設定されます。

Cisco EM からログアウトするには、次の手順を実行します。

-  > [Cisco EM Service] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ログアウトのプロンプトが表示されたら、[Yes] を押します。